

2020年8月13日

報道関係者各位

株式会社東急コミュニティー

～安心・安全な工事提供を目指して～
マンション大規模改修工事現場における
新型コロナウイルス感染防止・熱中症対策の取り組みを展開

株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：雑賀 克英）は、マンション大規模改修工事における安心・安全性の向上を目的に、夏場の工事に向けた新型コロナウイルス感染防止策および工事作業員の熱中症対策を展開いたしますので、お知らせいたします。

管理会社が行うマンション大規模改修工事の安全確保に向けた考え方

当社はマンション約34万戸を管理する総合不動産管理会社です。年間約200件のマンション大規模改修工事を請け負っており、お客様の安全に十分配慮することが使命と考えております。特にマンション大規模改修工事はお客様が住まいながら行う工事という特性上、新型コロナウイルスの感染防止策の徹底が必須になります。これに対し、当社では以下のとおり実施しています。

マンション大規模改修工事現場での新型コロナウイルス感染防止策

- ①ヘルメットに着用するタイプのフェイスシールド装着
- ②マンション共用部分で作業員が手に触れる手すり・ドアノブなどへのウイルス低減・活動抑制フィルムの貼付
- ③マンションにお住まいのお客様とのエレベーター同乗禁止



フェイスシールド

IT活用による工事安全教育の非接触化

また、協力会社を含む工事関係者への工事安全教育では、集合研修を避けるためITを活用した教育研修に向けたコンテンツの制作・配信準備を進めています。

- ①「スマートグラス」※を用いた危険箇所が可視化できる動画コンテンツ
- ②VRを用いた、建物劣化状況を仮想で確認できるコンテンツ

※スマートグラス メガネをかける要領で頭部に装着して使用するウェアラブルデバイスで、実際に見ている光景に重ねてレンズ上に建物情報等を投影する機能を有する

新型コロナウイルス感染対策を講じた上での熱中症予防対策の実施

夏場、養生シートのかかった屋外での工事は暑さが厳しく、そうした環境下でコロナ対策を講じるためには、熱中症対策も必要になります。当社では作業員の労働環境改善のため、以下の取り組みを行ってまいります。

① ヘルメットのリニューアル

頭部の保護性能を維持しつつ、通気性を改善したタイプに変更しました。また、つばの部分を透明なバイザー仕様にする事で今まで以上の視野の確保でき、安全性が向上しました。

② ミズノ株式会社（本社：大阪府大阪市、社長：水野明人）のマウスカバーを配布

ミズノ社のマウスカバーは水着や陸上ウェアで採用している伸縮性に優れた、肌触りの良いソフトな素材で、内側は接触涼感素材のアイスタッチ素材を使用しています。このマスク着用により、熱中症対策を講じながら飛沫感染を抑制します。

※涼感素材を用いたマスクであっても着用は熱中症リスク・視野が狭窄になるリスクがあるため、屋外でのソーシャルディスタンスを確保した作業、足場・高所作業で墜落・転落の可能性がある場合など、一定の条件下では適宜外して作業にあたります。



ヘルメット



マウスカバー

お客様の安心・安全につながるサービス

お客様のご要望に応じて、お客様の安心・安全につながるサービスも提供してまいります。

① 感染対策商品の販売提案

共用部分のドアノブに触れることなく扉を開閉できるハンズフリーオープナーや、衣類に付着した菌を除去する装置の設置提案・販売

② スマートエントランスの導入

カードキーによるタッチ方式のエントランス機器を導入、作業員の鍵貸し借りによる接触感染を予防しながら入退館が可能



スマートエントランス

ライフタイムマネジメントの実現に向けて

当社は、総合不動産管理会社として「良質な社会的ストックの形成」という社会的な使命から、建物の寿命を長く、最良な状態で、健やかに年を重ねて資産価値を維持向上させていくという考え方を「ライフタイムマネジメント」として掲げてきました。この考え方をもとに、建物の「これまで」を知り、「いま」を見極め、「これから」を見通す管理会社ならではの工事提案を大切にしています。

マンションの「これまで」を知り、「いま」を見極め、「これから」を一緒に。

■ 「これまで」

建物一つひとつが持つ成り立ち・コンセプトを大事にし、マンション管理実績 5,000 件・34 万戸から得られた管理の中での気づきと、大規模改修工事をはじめとした工事履歴、日々の点検履歴など

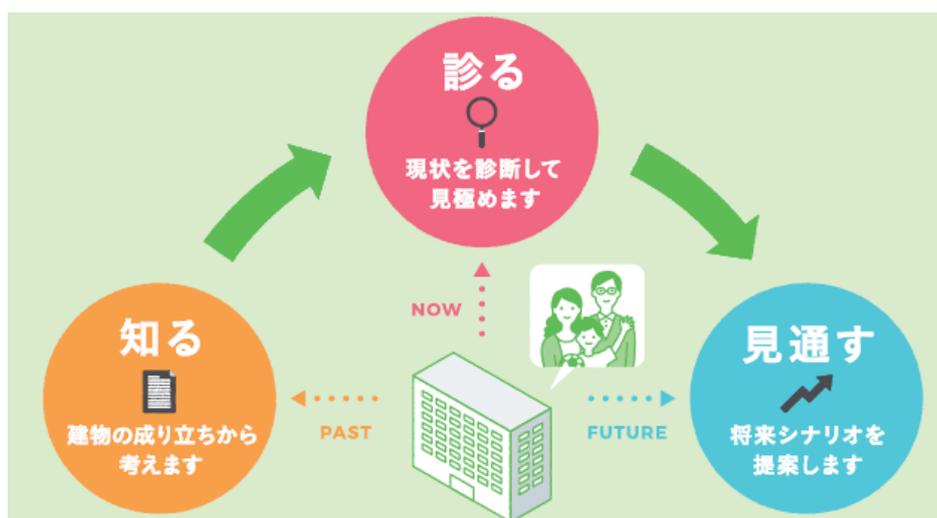
を併せて、建物を理解します。

■ 「いま」

専門的知識を持った技術員が、建物に関する知識・ノウハウを活かして現状を適確に把握します。

■ 「これから」

マンションの工事は1回で終わるものではありません。最適なタイミングでの工事を実施できるよう、無駄がないか、過剰ではないか、今やるべきなのか、といったことを考え、「これまで」「いま」の内容をふまえて一つひとつのマンションに寄り添った将来シナリオを提案します。



当社はこれからも、建物の将来を見据えた効率的・効果的な工事提案を行い、お客様の建物の資産価値維持向上に努めます。マンション大規模改修工事においては、お住まいのお客様にとって、また工事作業員にとって安心・安全を第一に、さらなる品質向上を目指して取り組んでまいります。

【リリースに関するお問合せ】

経営企画部広報センター（担当：高村・伊藤） TEL：03-5717-1551

※このニュースリリースは、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にお配りしています。